

带状疱疹ってどんな病気？

带状疱疹は、多くの人が子どもの時に感染する水ぼうそうのウイルスが原因で起こります。治った後も、ウイルスは神経節に潜んでいるため、ストレスや過労、病気、加齢など免疫力が低下した際に、再び活性化して带状疱疹を発症します。

発症すると、体の片側の一部にピリピリした痛みが現れ、その部分に赤い発疹が出てきます。

50歳代から発症率が高くなり、80歳までに約3人に1人が带状疱疹を発症すると言われています。50歳以上の約2割の人に带状疱疹後神経痛（PHN）と呼ばれる痛みが3か月以上続くことがあります。

どちらのワクチンを選べば良いの？

带状疱疹を予防するワクチンは2種類あります。接種方法、回数、接種費用等に違いがあります。また、既往歴等から接種できるワクチンが限定される場合がありますので、医療機関にご相談ください。

健康被害が起きた場合はどうすればいいの？

この予防接種は、予防接種法に基づかない任意の予防接種です。万が一、予防接種を受けたことにより入院治療が必要になるほど重篤な健康被害が生じた場合に、医療費や年金等の給付を行う公的な制度が、「医薬品副作用被害救済制度」です。必要時、救済制度相談窓口（PMDA）にご相談ください。

【相談先】

(独) 医薬品医療機器総合機構 (PMDA)

TEL 0120-149-931 (令和6年4月1日現在)



相談先：PMDA